

令和7年度 第3回 彦根市廃棄物減量等推進審議会

**令和7年10月29日
彦根市 市民環境部**

彦根市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画 に係る令和6年度の実施状況について

目次

- 1 彦根市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の概要
- 2 ごみ減量施策の実施状況
- 3 計画の進捗状況
- 4 ごみに関する各数値の推移
- 5 令和6年度の実施状況
- 6 令和6年度の審議会で示した取組方針と現状
- 7 委員からの意見と今後の市の方針

1 彦根市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の概要

▶ 基本方針

- 1 2R(Reduce(発生抑制)の推進・Reuse(再利用))の推進
- 2 適正なごみ処理の実施
- 3 分かりやすい情報発信の推進
- 4 市民・市民団体・事業者・市のコミュニケーションによる協働の推進

▶ 計画期間

令和4年度～令和13年度(10年間)

▶ ごみ減量目標

1人1日当たりのごみ排出量 令和13年度 750 g/人・日

※令和元年度実績値 880 g/人・日から15%の減量

施策	主な実施項目
1 市民の取組	
①食品ロスの削減	<ul style="list-style-type: none"> ・3キリ(水キリ、食べキリ、使いキリ)の周知・啓発 ・3010運動の周知 ・県が実施する「三方よし！！でフードエコ・プロジェクト」の周知 ・食品ロス削減に関する啓発展示
②生ごみの水切り	<ul style="list-style-type: none"> ・3キリ(水キリ、食べキリ、使いキリ)の周知啓発 ・指定ごみ袋への水切りイラストの採用
③簡易生ごみ処理(堆肥化)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民団体への簡易生ごみ処理普及事業の委託 ・彦根市ごみ削減推進協議会によるボカシ作り講習会等の実施
④買い物での工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座等での周知・啓発
⑤リユースショップへの出品	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者との連携(ジモティー、おいくら)によるリユースの推進
⑥紙ごみの資源化	<ul style="list-style-type: none"> ・雑がみ分別の周知啓発(チラシ、雑がみ分別保管袋の配布) ・回収実施店舗一覧を作成し、転入者への配布、ホームページへの掲載 ・彦根市リサイクル活動推進事業奨励金の交付
2 事業者の取組	
①生産・流通・販売におけるごみ排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック製容器包装等の素材の見直し、軽量化
②紙類の排出抑制・再生利用の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーレスの推進による紙使用量の削減 ・古紙類、ペットボトル、食品トレー等の回収・資源化
③食品廃棄物リサイクルの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・商品加工時に発生する野菜くず等をリサイクルし、堆肥化・飼料化

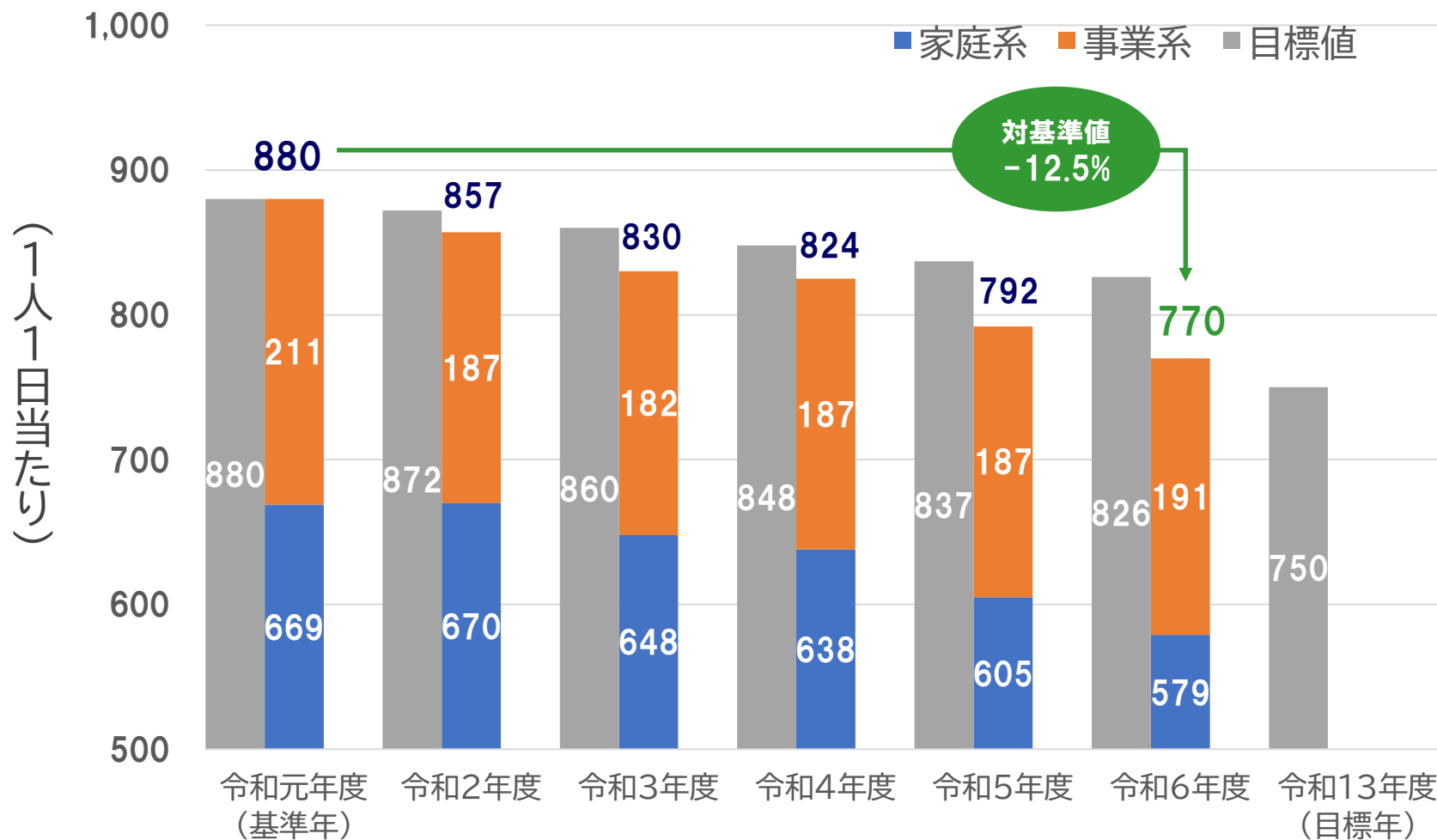
施策	主な実施項目
3 彦根市の取組	
①ごみ減量の具体的な方法の公開、PR	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会等への出前講座による資源の分別方法等の周知・啓発 ・小学校へのごみ減量・分別に関する出前授業 ・彦根市公式LINEによる粗大ごみ戸別収集の受付 ・リチウムイオン電池の回収開始 ・事業者との連携によるリユース・リサイクルの取組 <ul style="list-style-type: none"> インターネットを利用したリユース(ジモティー、おいくら) 使用済みペンリサイクルプログラム 不要となった制服の循環型プロジェクト 不要となったパソコン・小型家電の回収 ・家庭系燃やすごみの組成分析調査
②多量排出事業者等に対する指導	<ul style="list-style-type: none"> ・「彦根市事業系一般廃棄物減量化等に関する指導要綱」の運用 ・「事業系一般廃棄物の減量化・資源化および適正処理に関する指針」の周知 ・越境ごみや産業廃棄物など不適切な搬入の取り締まりを実施 ・「事業系ごみの分け方・出し方 豆知識」の作成および周知
③ごみ処理費用有料化の検討	未実施
④使用済紙おむつ再生利用の検討	企業等からの情報収集、意見交換を実施
⑤紙ごみの資源化	1-⑥に記載のとおり
⑥彦根市廃棄物減量等推進審議会	審議会を開催し、計画の進捗評価等を実施

① / 1人1日当たりのごみ排出量

達成状況



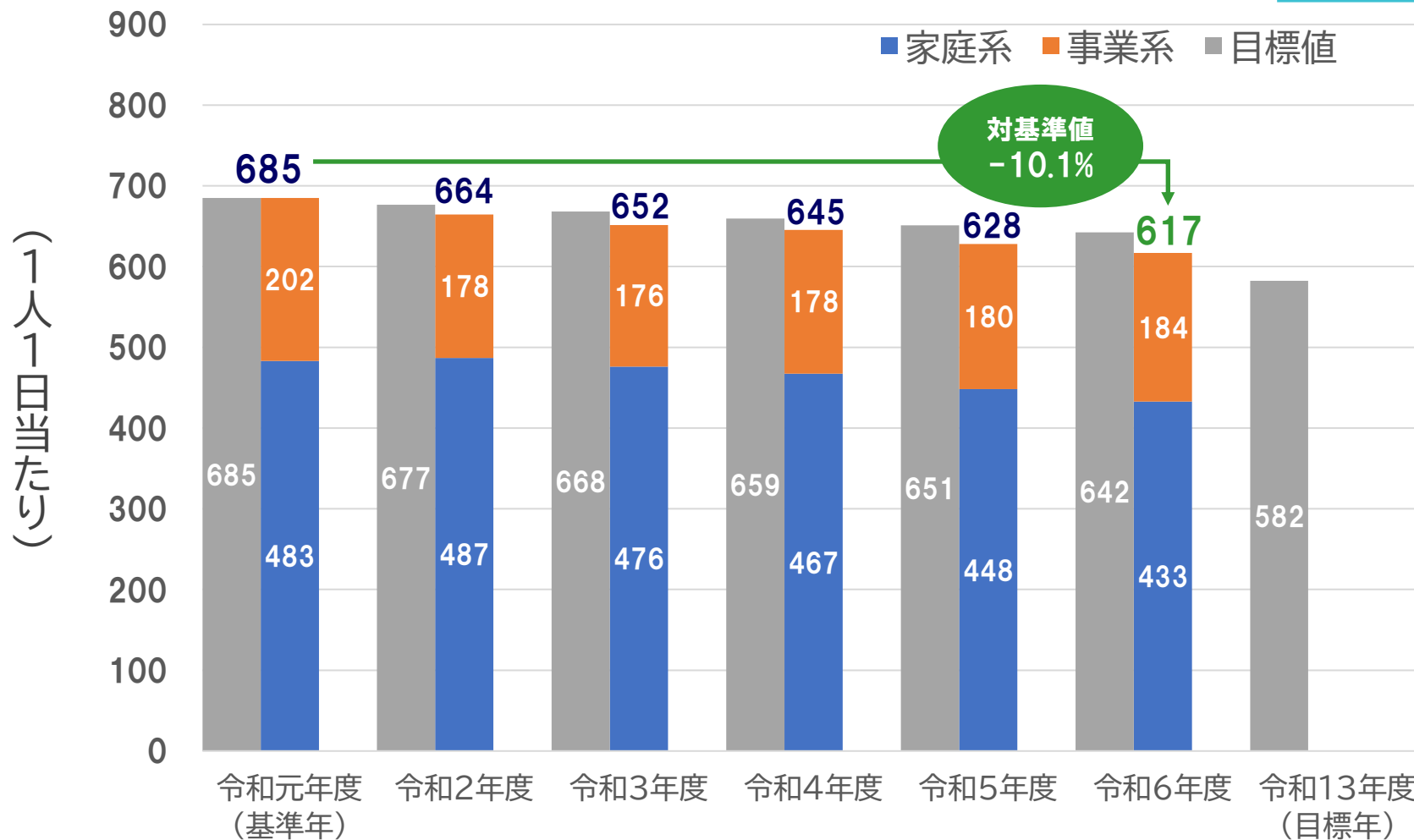
(単位:g/日・人)



※四捨五入の端数処理により、合計値が一致しない場合があります。



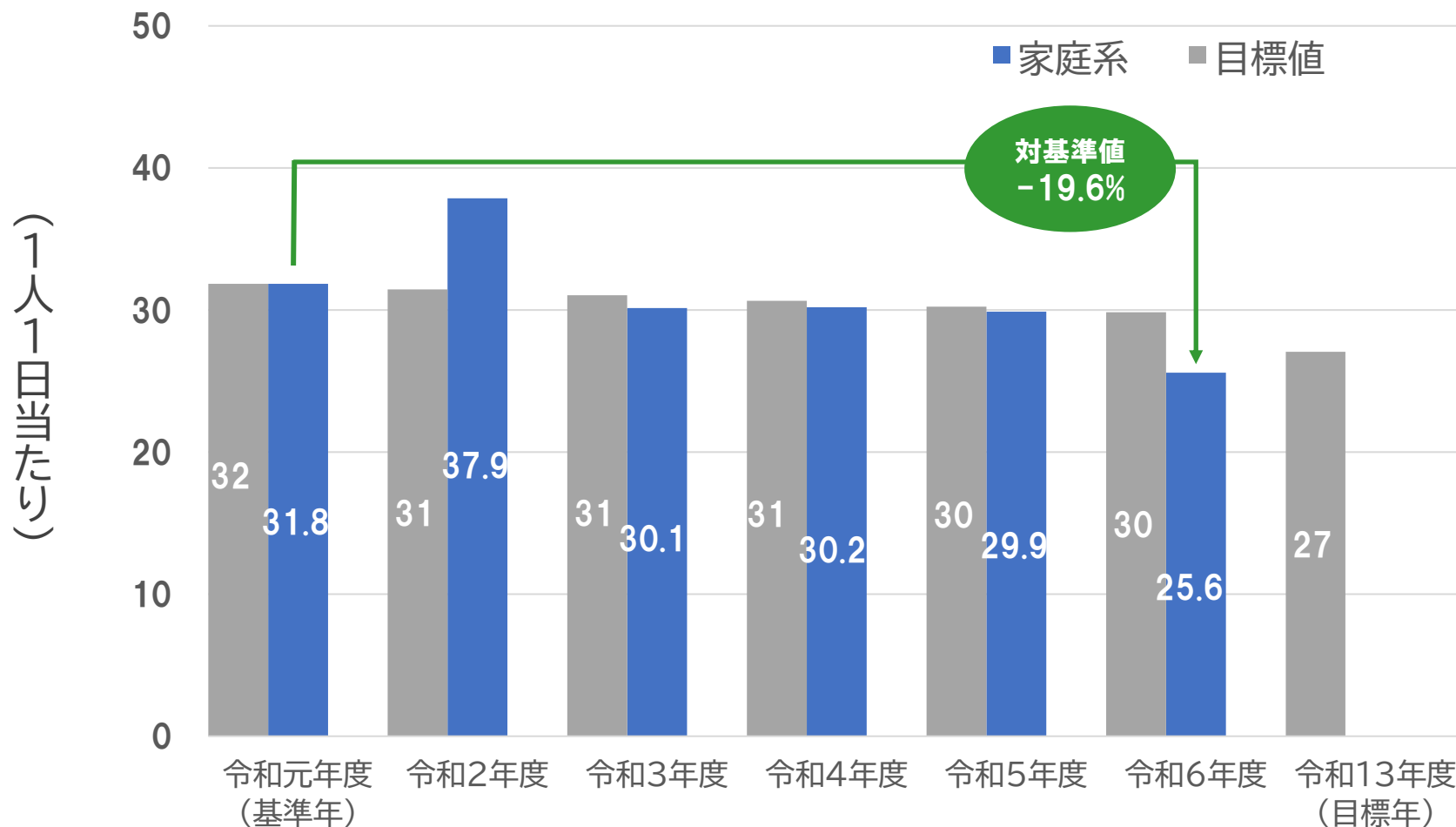
(単位:g/日・人)



※四捨五入の端数処理により、合計値が一致しない場合があります。

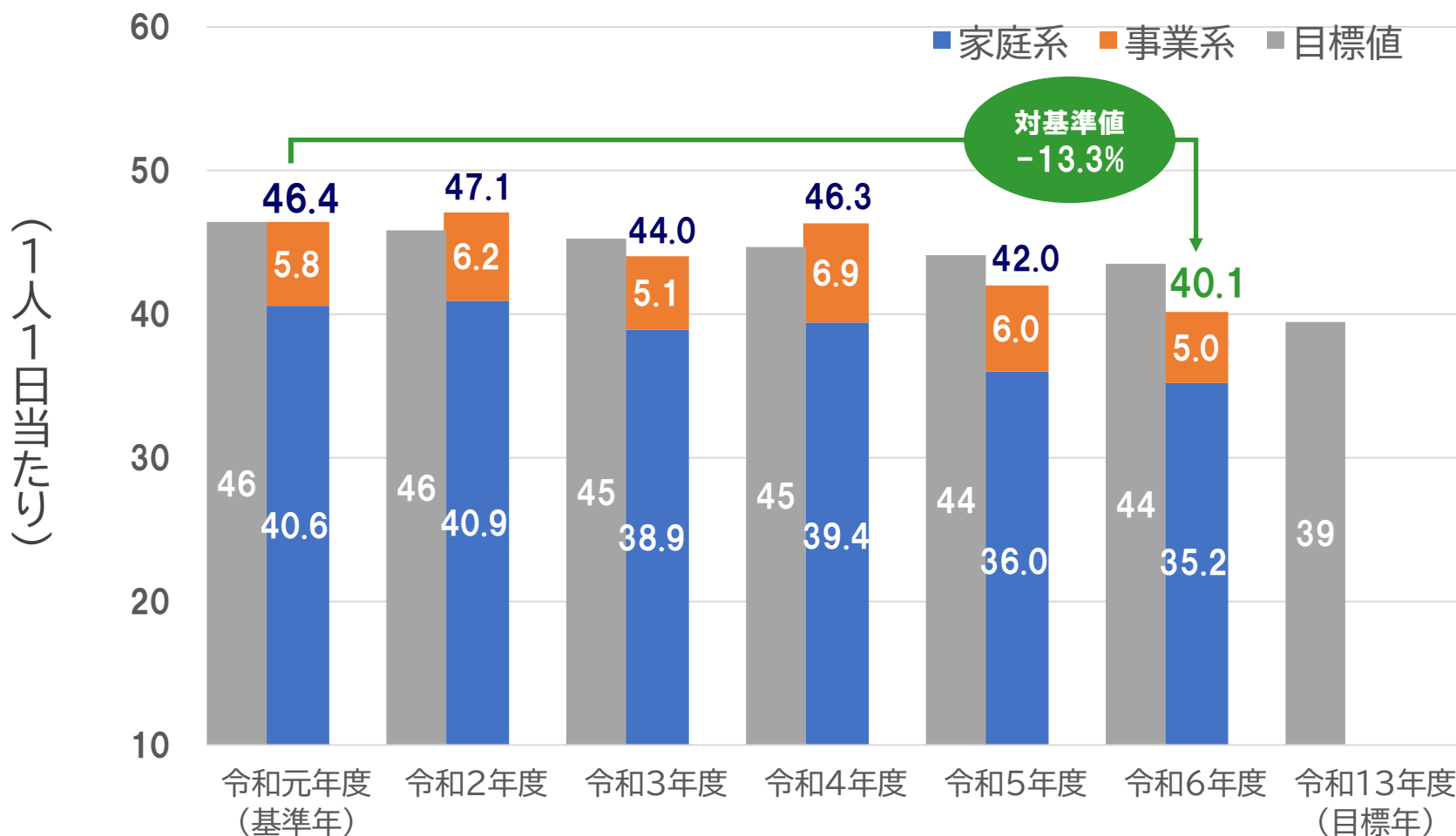


(単位:g/日・人)





(単位:g/日・人)



※四捨五入の端数処理により、合計値が一致しない場合があります。

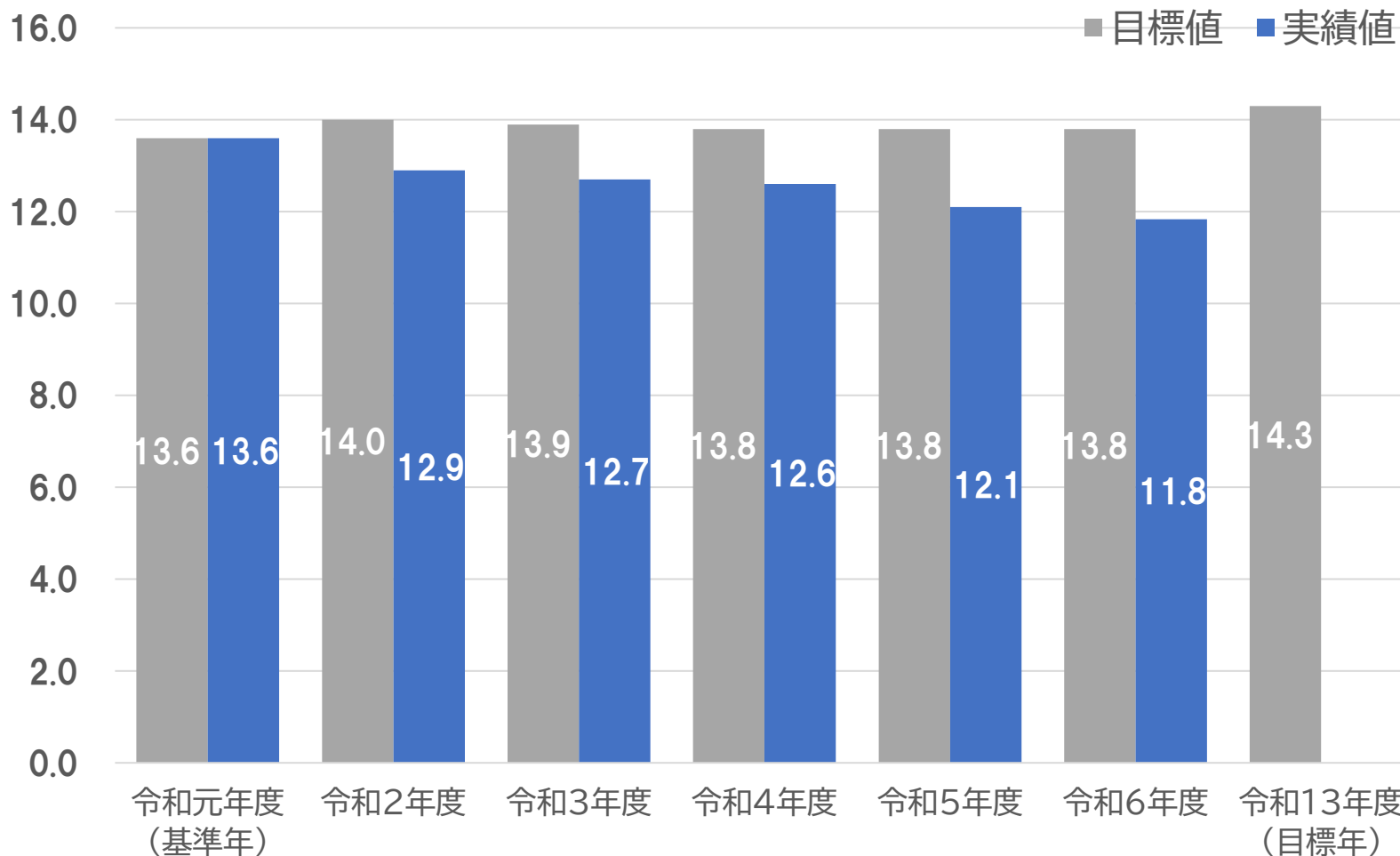
4

ごみに関する各数値の推移

①

リサイクル率

(単位:%)

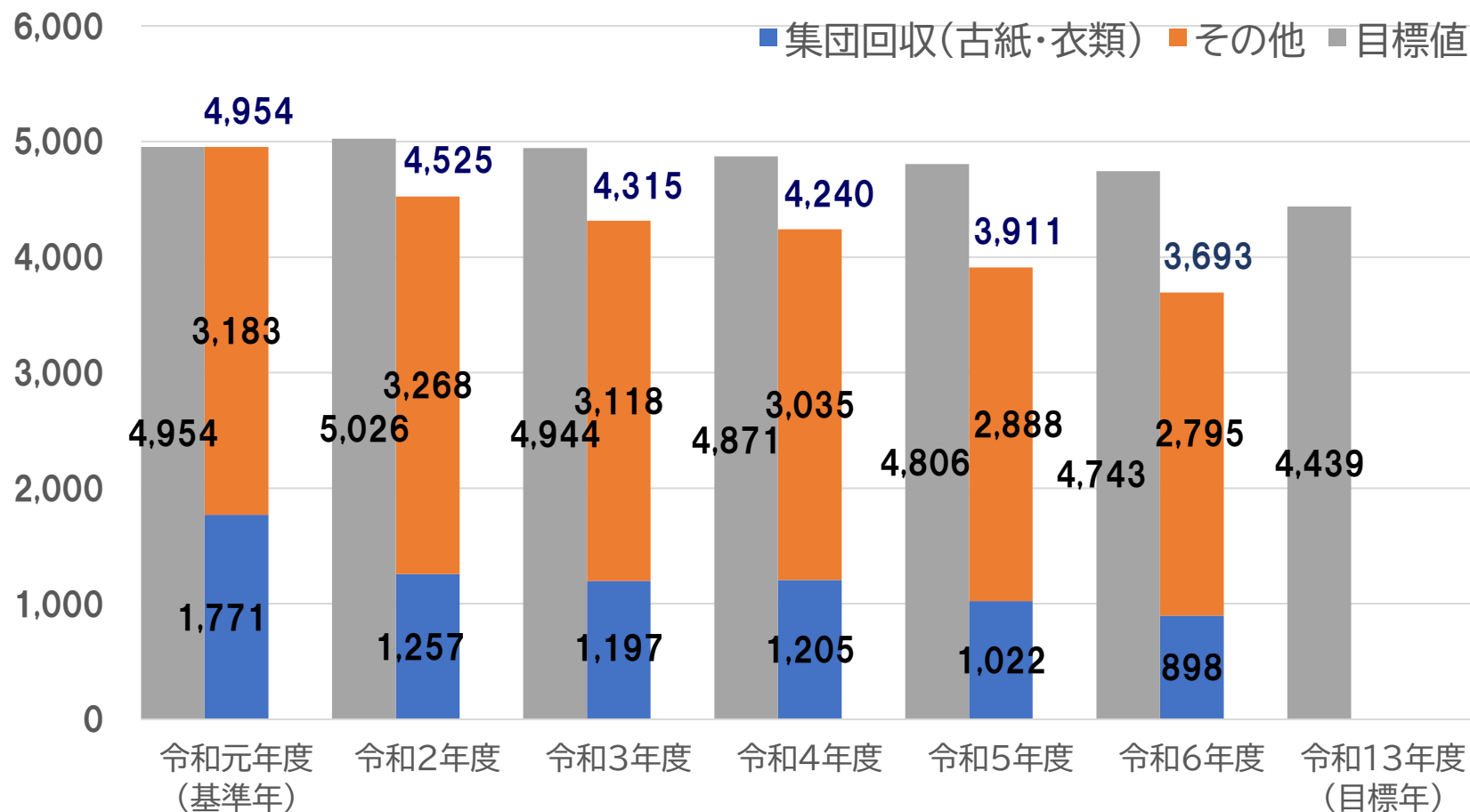


4

ごみに関する各数値の推移

② / 資源化量

(単位:トン)

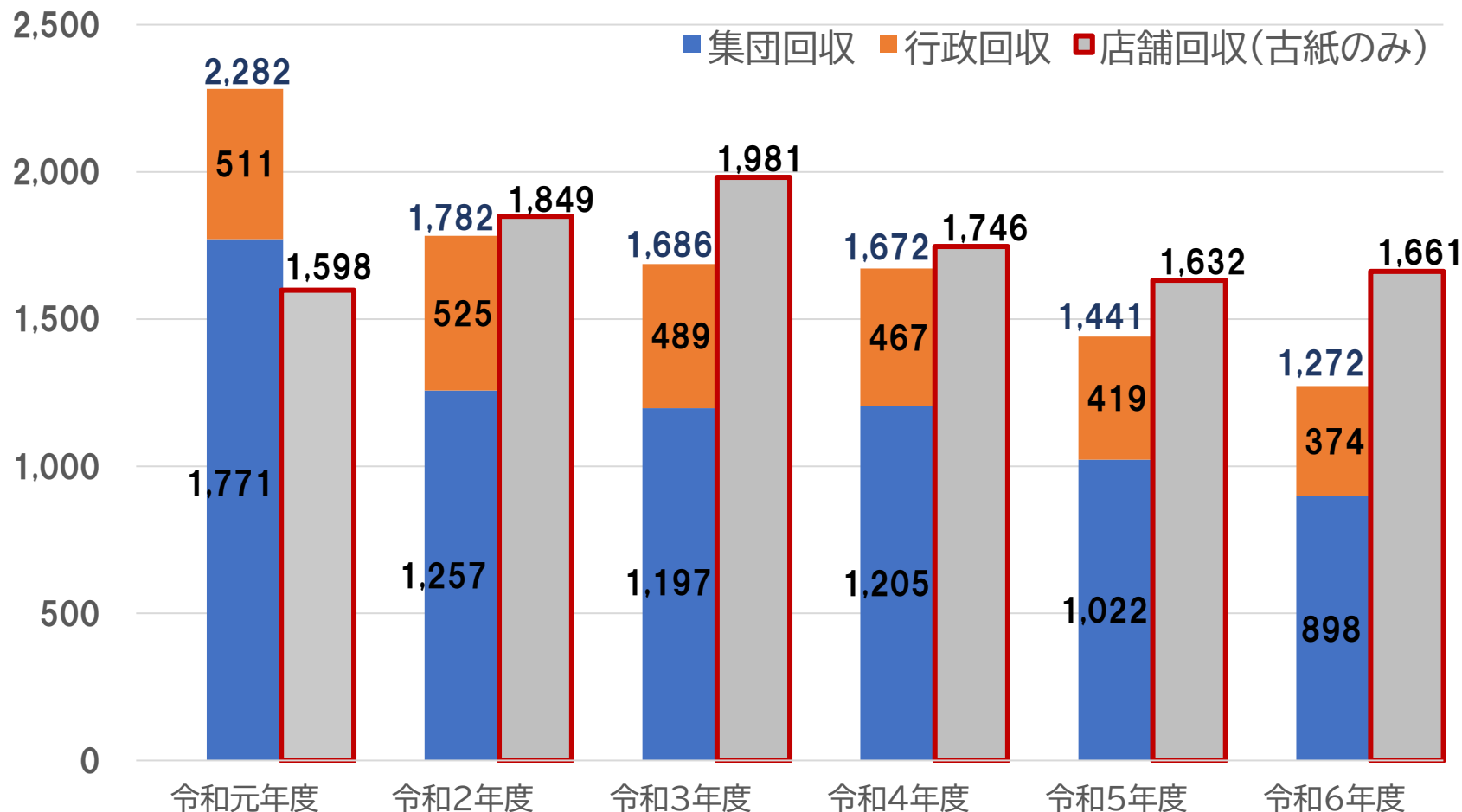


「集団回収」は、団体数、実施件数ともに減少傾向にあり、それに伴い、資源化量も減少

※四捨五入の端数処理により、合計値が一致しない場合があります。

③ / 古紙・衣類の回収量

(単位:トン)



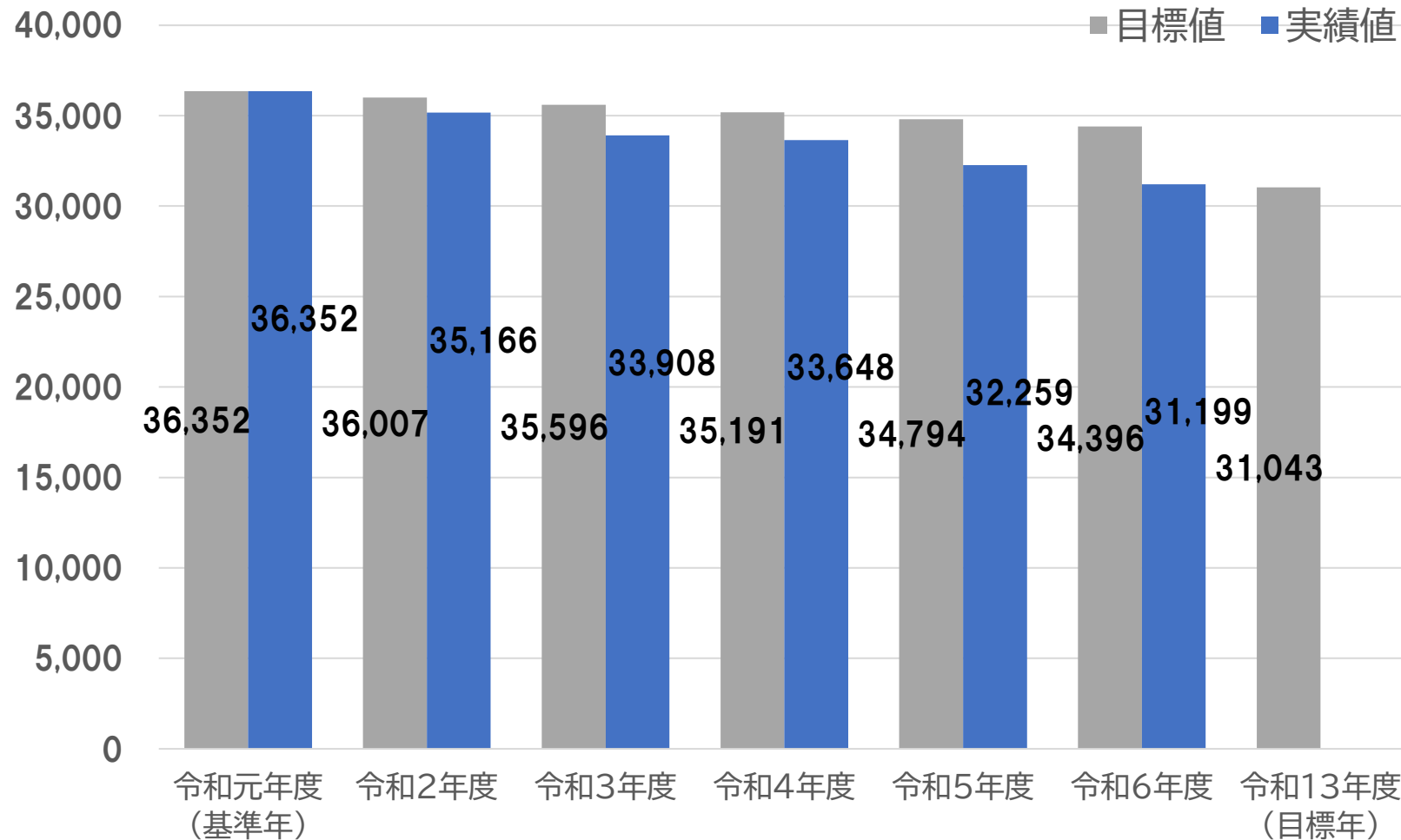
※四捨五入の端数処理により、合計値が一致しない場合があります。

4

ごみに関する各数値の推移

④ / ごみ等総排出量

(単位:トン)



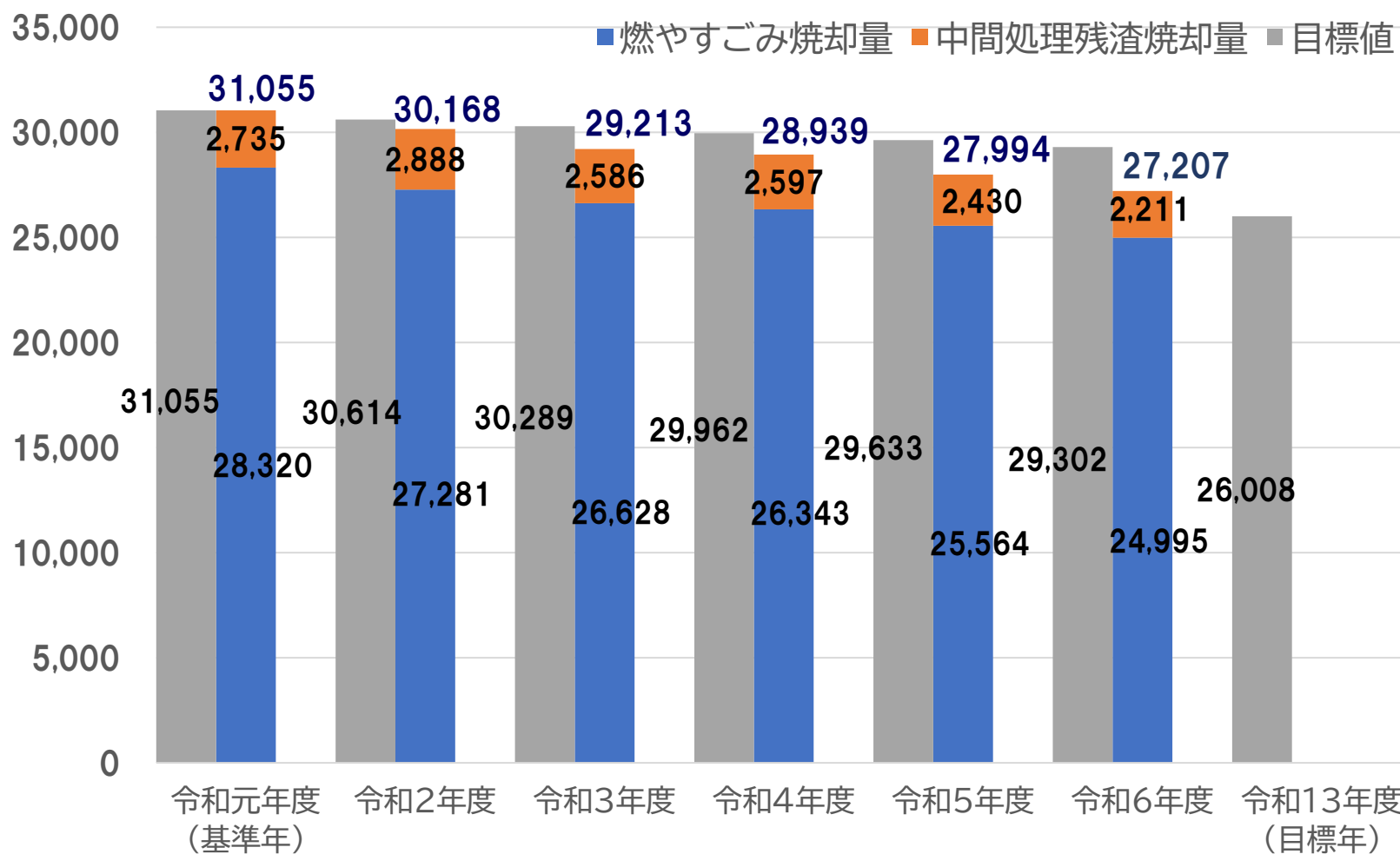
4

ごみに関する各数値の推移

⑤

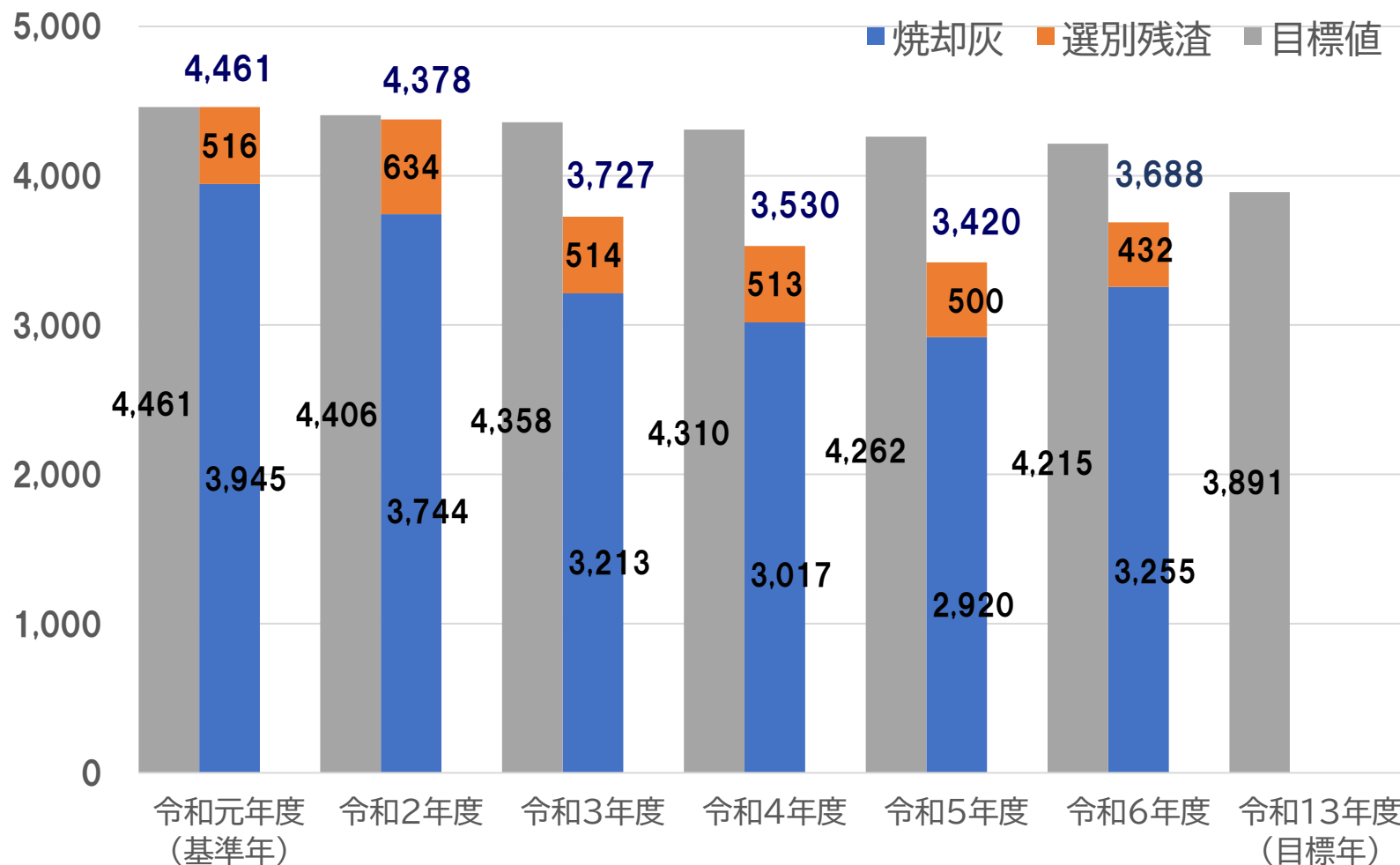
焼却処理量

(単位:トン)



※四捨五入の端数処理により、合計値が一致しない場合があります。

(単位:トン)



※四捨五入の端数処理により、合計値が一致しない場合があります。

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
燃やすごみ	27,281	26,628	26,343	25,564	24,995
容器包装プラスチック	975	983	939	891	896
埋立ごみ	1,554	1,232	1,233	1,217	1,037
缶・金属類	295	267	252	266	227
びん類	809	763	763	682	631
粗大ごみ(小型家電含む)	2,193	2,051	2,101	1,897	1,818
ペットボトル	237	260	309	263	267
使用済乾電池	26	24	23	23	23
廃食用油	12	12	10	10	10
使用済蛍光管	3	4	5	4	5
古紙・衣類(行政回収)	525	489	467	419	374
古紙・衣類(集団回収)	1,257	1,197	1,205	1,022	915
ごみ等排出量	35,166	33,908	33,648	32,259	31,199
古紙・衣類(店舗回収)	1,849	1,981	1,746	1,632	1,661
人口(10月1日時点)	112,480	111,972	111,835	111,254	111,030

(単位:トン)

(単位:人)

※四捨五入の端数処理により、合計値が一致しない場合があります。

食品ロス削減に関する啓発展示

令和6年10月7日～11日

市役所本庁舎1階市民ホールにて、
食品ロスに関する国や市の現状や、
食品ロスの削減方法等に関する
展示を実施



その他の周知・啓発

ポスター掲示



職員向けの啓発



ホームページ



出前講座



ラジオ(FMひこね)



窓口POP



彦根市ごみ削減推進協議会によるボカシ作り講習会等の実施

初心者講座(7月)

実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
開催回数(回)	2	2	2	3
参加者数(人)	36	32	34	51



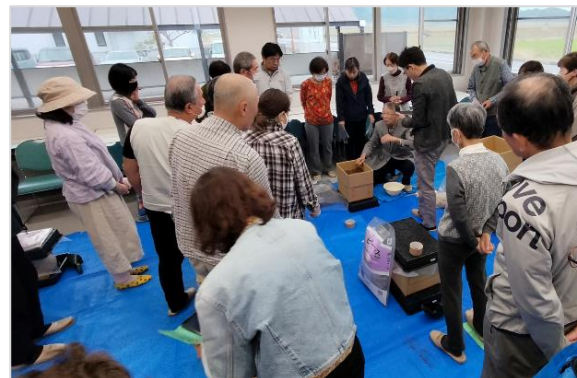
新たな講座の開催

簡易生ごみ処理の更なる普及のため、経験者向けのフォローアップ講座やダンボールコンポストによる生ごみ堆肥の作り方講座を開催

フォローアップ講座(9月)



ダンボールコンポスト講座(11月)



- ・転入者への配布(令和5年12月～)
- ・出前講座等での配布
- ・ホームページへの掲載
- ・外国語版(ポルトガル語、英語、中国語)を新たに作成(令和6年11月～)

古紙のリサイクルについて、引き続き、
店舗回収一覧チラシ等を活用し啓発していく

対象：ダンボール、新聞紙、雑誌、繊維類、紙パックの計5品目

・雑がみ分別の周知啓発
(チラシ、雑がみ分別保管袋の配布)



雑がみ分別保管袋

小学校へのごみ減量・分別に関する出前授業

楽しみながら学んでいただけるよう、ごみのサンプルを使った分別体験を実施(2校)

上段:実施回数(回)／下段()内:参加人数(人)

実績	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
小学生・中学生	0 (0)	1 (71)	1 (114)	1 (89)	7 (427)
高校生・大学生	0 (0)	0 (0)	1 (40)	2 (23)	0 (0)
自治会等	0 (0)	4 (123)	3 (26)	3 (55)	9 (285)
その他 (イベントへの出展等)	0 (0)	4 (86)	4 (59)	6 (150)	6 (104)
合計	0 (0)	9 (280)	9 (239)	12 (317)	22 (816)

小学校への出前授業



～令和6年度の審議会で示した取組方針～

- ・小学生を対象とした出前授業を通じて、ごみ減量の取組が子どもから家庭へ波及していくことが重要であると考えているため、今後も小学校と連携していく
- ・分別や資源化については、出前講座を中心に人が集まる機会を捉え、周知、啓発していくほか、楽しみながら学んでいただけるような方法を研究していく

老人会への出前講座



LINEによる粗大ごみ戸別収集の申込受付を開始（令和6年10月～）

粗大ごみ戸別収集の申込件数（令和6年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
電話	90	132	110	106	113	100	110	121	97	54	67	70
LINE	—	—	—	—	—	—	55	73	80	59	55	64
合計	90	132	110	106	113	100	165	194	177	113	122	134
LINE 比率	—	—	—	—	—	—	33%	38%	45%	52%	45%	48%

→ 令和6年10月以降、徐々にLINEによる申込比率が上昇

小型充電式電池(リチウムイオン電池等)の回収を開始（令和7年1月～）

リチウムイオン電池などの小型充電式電池が一般ごみに混入し、ごみ収集車やごみ処理施設で火災が発生することが全国各地で問題となっている。

→ごみの適正処理およびリサイクルの推進を目的として、

清掃センターにおいて、家庭で不要になった小型充電式電池の回収を開始

事業者との連携によるリユースの推進

ジモティー

<運営事業者:株式会社ジモティー>

リユース活動の促進に向けた連携と協力に関する協定を締結
(令和6年12月19日)

◎地域の情報を掲載することができるサイト「ジモティー」に
譲りたい不要品の情報を投稿することができ、地域で譲り先
を見つけられるサービス（利用料・手数料全て無料）

実績	投稿数(件) (12月～3月)		市HPからの流入数(件) (2月25日～3月31日)	
	合計	月平均	合計	月平均
R6年度	2,598	649.5	201	100.5

～令和6年度の審議会で示した取組方針～

家庭で不要になった物のリユースを推進するため、リユース事業を実施されている事業者等との連携を検討していく



<特徴>

地域で譲り先を見つけることができる

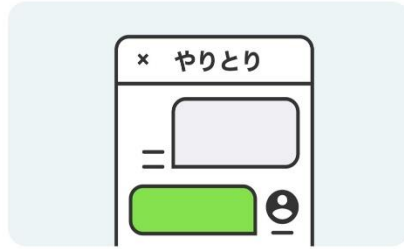
<ポイント>

- ①利用料・手数料は全て無料
- ②リユースショップ等で売れなかったものでも、譲り先が見つかる可能性がある

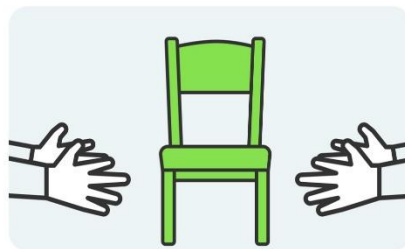
1.品物を撮影して投稿！



2.問い合わせが来たら日程を調整



3.品物を引き渡して…



4.相手にお礼を送って完了！



事業者との連携によるリユースの推進

おいくら

<運営事業者:株式会社マーケットエンタープライズ>

リユース活動の促進に向けた連携と協力に関する協定を締結
(令和7年2月4日)

◎専用フォームに商品情報を入力することで、
複数のリユースショップの買取査定価格を比較し、
売却できるサービス（利用料・手数料全て無料）

実績	査定依頼 件数(件)	査定依頼 商品数(件)
R6年度 (2月、3月)	24	60

※市ホームページのリンク先からの査定依頼のみ集計



おいくら?

<特徴>

一度の依頼で、複数のリユースショップ
の買取価格を比較し、売却できる

<ポイント>

- ①利用料・手数料は全て無料
- ②大型品でも、自宅まで出張買取に来て
もらえる可能性がある

※査定の結果、引取りができない場合がある



事業者との連携によるリサイクルの推進

使用済みペンリサイクルプログラム

<株式会社パイロットコーポレーション、テラサイクル社>
(令和6年12月2日～)

◎使用済みペン等のプラスチック製筆記具を回収し、
リサイクル材を製品の一部に再利用

【回収場所】

- ・市役所本庁舎1階総合案内付近、
生活環境課
- ・稲枝支所・各出張所(令和7年3月24日～)



実績	回収重量(kg)
R6年度(12月～3月)	8.6

制服・体操服の循環型プロジェクト

<株式会社JEPLAN、菅公学生服株式会社>
(令和6年6月27日～)

◎不要となった制服のうち、傷み等の理由により
リユースが難しいものを回収し、
衣類の原料にリサイクル

【回収場所】

稲枝中学校(令和6年9月～)



不要となったパソコン・小型家電の宅配による回収

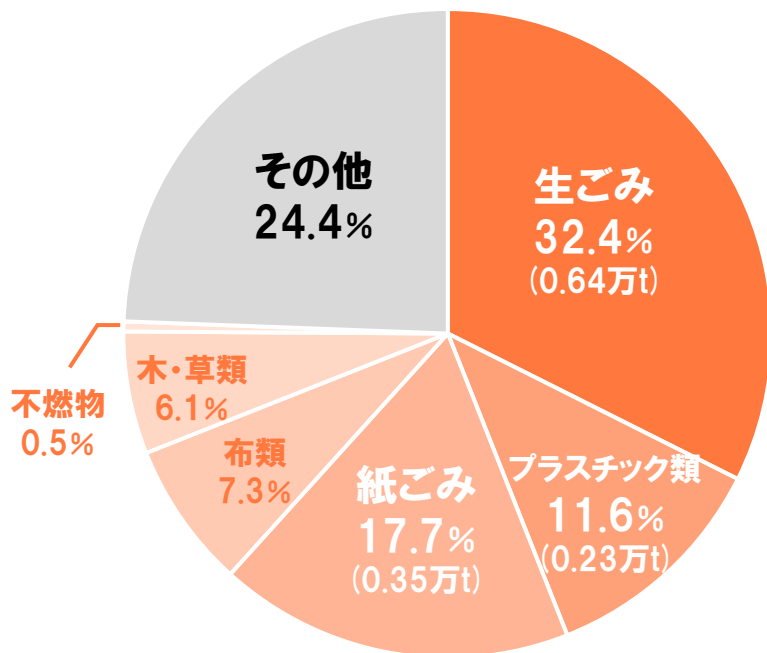
<リネットジャパンリサイクル株式会社> (令和6年2月～)

実績	回収 件数(件)	パソコン		携帯電話		その他 小型家電	合計 重量(kg)
		台数(台)	重量(kg)	台数(台)	重量(kg)	重量(kg)	
R5年度 (2月、3月)	66	102	461.8	41	4.6	558.6	1,025.0
R6年度	308	425	1,900.4	147	16.7	2,317.1	4,234.2

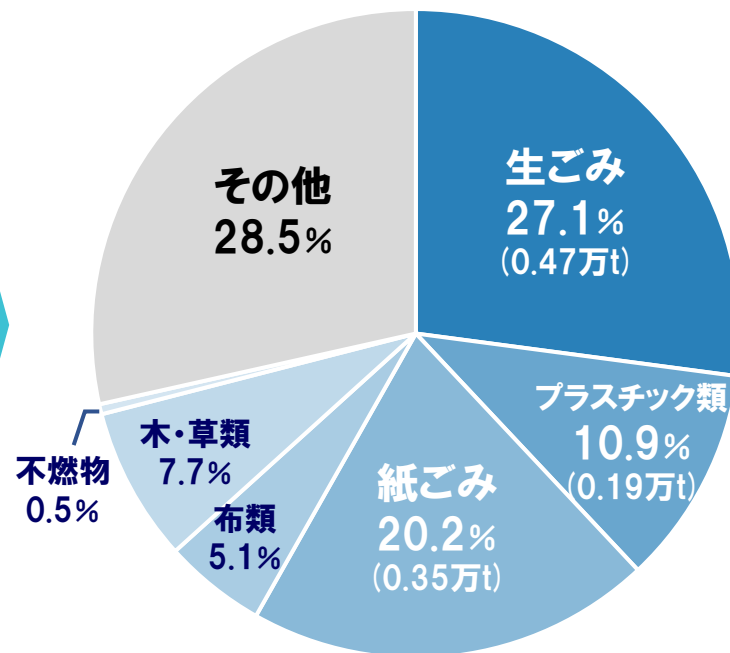
家庭系燃やすごみの組成分析調査の実施

家庭系燃やすごみの組成と推計量

平成29年度から令和元年度
(令和元年度総量:約1.99万t)



令和6年度
(令和6年度総量:約1.75万t)



- ・「生ごみ」は、5.3ポイント減少(推計量としては17%減少)
- ・「紙ごみ」は、2.5ポイント増加(推計量は変わらず)

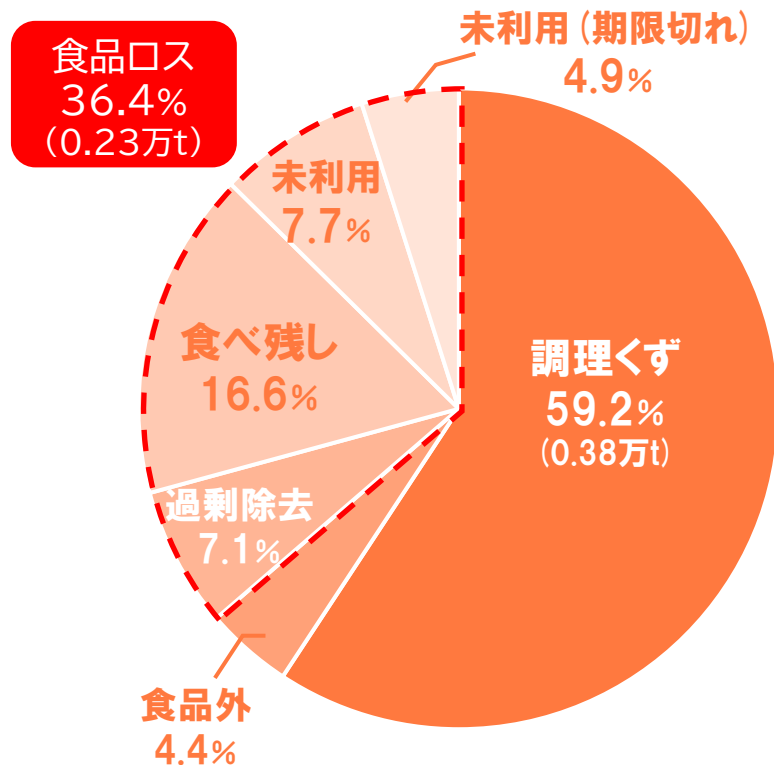
→ 紙ごみの分別・資源化に関する更なる取組が必要

【調査方法】

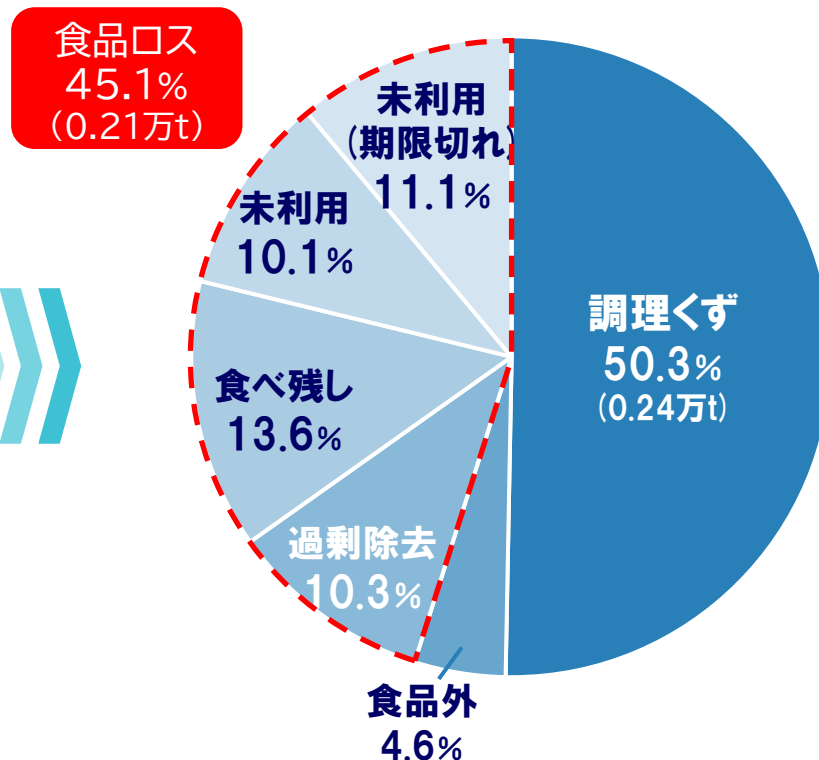
試料：集積所(5箇所)から収集した
燃やすごみ 約30 kg
回数：年2回

生ごみの内訳と推計量

平成29年度から令和元年度



令和6年度



- ・「調理くず」は、8.9ポイント減少
 - ・生ごみの内、「食品ロス」が占める割合が、45.1%
- 食品ロス削減に関する更なる取組が必要

その他の取組

【ふれあい収集】

高齢者・障害者・年少者だけで構成される世帯で、自らごみを指定された集積所まで運ぶことが困難な場合に、自宅まで収集を行うサービス

実績	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実施件数 (件)	61	89	136	141	142

【環境美化活動等】

- ・海洋プラスチックを使用したボールペンの作製・配布によるポイ捨ての禁止やリサイクル等に関する啓発
- ・不法投棄パトロール(平日・毎日)
- ・ボランティア清掃の処理手数料免除、ボランティア袋の配布
- ・湖岸クリーンアップ事業(琵琶湖岸における清掃美化活動)
- ・びわ湖クリーンキャンペーン(滋賀県労働者福祉協議会主催)への参画
【場所】旧港湾周辺、八坂町湖岸 【参加人数】158人
- ・びわ湖を美しくする運動(湖東地区) ※滋賀県との共催

海洋プラスチックを使用したボールペン



びわ湖を美しくする運動



実績	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
参加者数(人)	95	149	146	149	200
回収重量(kg)	105	180	85	123	180

昨年度示した取組方針	現状
市内小学校でのペットボトルキャップの回収実施については各校の判断となるが、分別意識向上につながる取組例の一つとして紹介していく。	市内小中学校の状況を確認したところ、ペットボトルキャップを回収し、企業を通じてワクチンにつなげる活動をされている学校や、社会福祉協議会等を通じて障がい者施設につなげる活動を実施されている学校がありました。今後も、このような回収の取組を各学校に周知していきます。
雑がみ分別保管袋は、雑がみの分別、資源化を啓発するためのツールの一つとして作成したものであり、利用者からもイラストの記載がわかりやすく、分別しやすい等の意見をいただいているが、追加作成については、費用対効果を考慮し、今後、検討していく。	雑がみ分別保管袋は、美しい湖国をつくる会の補助金を活用して作製しているものですが、令和7年度は、バイオマスプラスチックを使用したボランティア袋を作製する予定であるため、雑がみ分別保管袋を追加作製する予定はありません。令和8年度については、他の施策との優先順位も踏まえ、検討します。
ペットボトル回収拠点の地図の作成について、申請当初と設置位置が大きくズれている場合があるため、現況確認を要するほか、市内に多数(332か所)あるため、地図に記載することは容易ではないが、彦根市の地図情報システムである「彦根まっぷ」を利用できないか担当課と協議していく。	「彦根まっぷ」の担当課と協議したところ、システム改修が必要であり、費用が必要となることが分かりました。今後、令和8年度の実施可否について、予算面も含め、検討します。
事業者情報の掲載については、市ホームページに事業者のホームページのリンクを設定するなど、方法を検討する。	本市が許可を出している一般廃棄物の収集運搬業および処分業の業者について、ホームページ上に掲載できるよう準備を進めています。
県内13市のうち約7割がごみ処理費用の有料化を実施している中、本市としても、実施するにあたっては、目的および期待する効果を明確にしたうえで進める必要があると考えている。また、現在、彦根愛知犬上広域行政組合で進めている新ごみ処理施設の供用開始までに1市4町でのごみ処理手数料の統一を行う必要があることも踏まえ、料金体系や有料化の範囲、スケジュール等の検討を進めていく。 なお、委員から提案があったライスレジンごみ袋(買い物袋)のような「できる人から始められるような取組」についても、研究していく。	ごみ処理費用の有料化については、令和7年度第1回審議会において委員の皆様からいただいたご意見も踏まえ、単純に有料化するのではなく、より一層のごみ減量・資源化の取組についてもセットで具体的に検討を進めていく予定です。

意見	今後の方針
<p>現在、彦根市における1人1日当たりのごみ排出量が減少してきており、目標を達成できているのは、市民による家庭系一般廃棄物の減量が大きく貢献している。一方、事業系一般廃棄物の排出量は横ばいとなっているため、事業系一般廃棄物の減量施策を進めなければならない。</p>	<p>ご指摘のとおり、事業系一般廃棄物減量を推進する必要があると考えますので、指導要綱の適切な運用や搬入物検査などの施策を実施してまいります。</p>
<p>割れた植木鉢や茶碗、プランターの土等については、工夫すればリサイクルできる事例が多数ある。市のホームページ等で、家庭でできる取組として紹介してはどうか。</p>	<p>割れた植木鉢や茶碗、プランターの土等の家庭でできるリサイクル方法について、市のホームページ等での紹介を検討してまいります。</p>
<p>アルミ缶を回収ボックスに入れるとポイントを貯めることができ、ごみ袋と交換できるような取組を実施されている自治体もあるので、市民に楽しみながらリサイクルするような仕組みづくりについても研究していただきたい。</p>	<p>他自治体の事例や民間企業の取組も参考に、研究してまいります。</p>
<p>他自治体の店舗で資源回収を実施されている実績があるドラッグストアなどの事業者に対して、彦根市においても実施してもらうよう働きかけてはどうか。</p>	<p>他自治体の店舗で資源回収を実施されている実績があるドラッグストアなどの事業者、市内店舗における実施の可能性について確認いたします。</p>
<p>使用済みペンの回収を開始されたが、資源循環の観点から、回収した使用済みペンのリサイクル材を使った製品が市内で買えるような取組ができるとよい。</p>	<p>事業者を確認しましたところ、回収した使用済みペンのリサイクル材を使って製品を作製するためには、多量の回収が必要となるため、現段階では広く販売するまでには至っていないとのことでした。 今後も、情報収集をしてまいります。</p>

意見	今後の方針
<p>現在、清掃センターにおいて刈草等を緑化に活用している。彦根市としてもごみの発生をできる限り無くしていくように努力している取組の一つとして、今後、紹介してはどうか。</p>	<p>次年度以降、資料に記載できるよう検討します。</p>
<p>現在、ごみ減量の目標値を達成できているが、満足することなく、より高い目標を設定してごみ減量・資源化を進める必要があると考える。</p>	<p>計画の目標値に加え、前年度の実績値を下回ることを目標とし、より減量できるよう取り組んでまいります。</p>